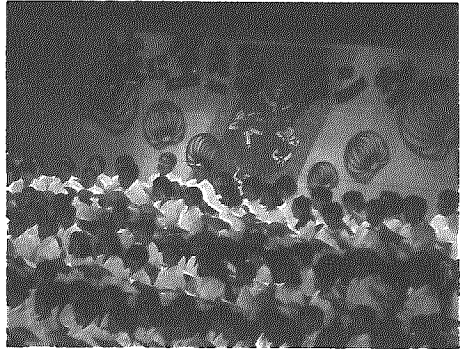


五周年記念のぎく讃歌 千三百人の心に響く歌声



250名の合唱団員の歌声が心に響く

「のぎくの家五周年記念 共に生きるコンサート」が、六月六日、横越小学校で開催され、村内外から約千三百人余が集まりました。

このコンサートの合唱組曲「のぎく讃歌」は、一昨年十一月、二十数曲を創作。その中から創作委員会での構成を決め、十二曲が生まれました。

「のぎく讃歌」合唱団については、昨年十月より団員募集を開始し、十一月より県内五カ所で二回の地域練習をし、今年一月からは、月一回の合同練習を積み重ね、最終的には、大人二百名、子供五十名の合唱団となり当日を迎えました。



会場を埋めつくした1,300人の聴衆

五周年記念式典で佐藤助役から「めくもりのかよう福祉、隣の人を気遣う隣人愛、ひとり一人が連帯して助けあい、励ましあって希望をもって生きていきたいと思います」と挨拶の後、第一部は、男声合唱団「どんぐり」のコンサート。指揮は押見栄喜さん、ピアノは二瓶麻理さんで四季の歌などを含めて7曲を披露。第二部は友情出演で横越上神楽保存会の子供による笛と剣の舞や盲学校生徒によるバイオリン独奏やメゾソプラノ独唱など。

第三部は、二百五十名の合唱団による合唱組曲「のぎく讃歌」という構成で聴衆を魅了しました。

このコンサートに際して村をはじめ、各種団体による後援や、村内のボランティアグループの協力で無事終わることができました。

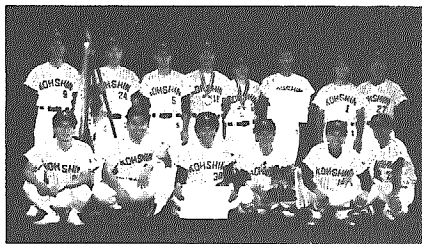
ナイター 村民野球大会 恒心クラブが優勝

最優秀選手賞 本間英樹投手(恒心)
優秀選手賞 市村 武捕手(恒心)
優 秀 選 手 賞 小野塚繁則投手(ニュークス)

今年、初めてのナイター村民野球大会は、五月二十四日から始まり、天候にも恵まれ順調に試合を消化し、六月二十三日、恒心クラブとニュークスとの間で決勝戦が行われました。

結果は、4対0で恒心クラブが優勝しました。

試合経過は、恒心クラブが一回の裏、相手ピッチャーの立ち上がりを攻め、四球とヒットをからめて3点を

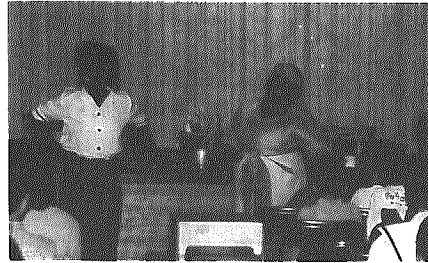


優勝した恒心クラブ



コンサートの実行委員会の皆さんも「ひとり一人の皆様方の暖かい心を励みにのぎくの家皆さんも頑張っている事と思います。これからもよろしくお願ひ申し上げます」とお礼を述べていました。

国際交流の足がかり 「パス・パールのトゥ」上演



ドラマを楽しみながら、いつしか国際人へ...ということで、マスターキー(パス・パールのトゥ劇団招聘委員会)と村中央公民館では、六月七日、イギリスの国際劇団「パス・パールのトゥ」を招聘しました。

今年度、中央公民館で年4回程、国際交流セミナーを予定していますが、その一環としての事業。

会場となった中央公民館には、中学生や外国人を含めて、約百六十名が会場を埋めつくしました。

今回の英語劇「女性として世界・アフリカの話」は、東アフリカのケニアに焦点をおき、女性の田舎での生



会場は、熱気ムンムン

活をドラマ仕立てで描写しています。

ドラマは、英語で行われましたが、日本語を交えた構成で英語を学ぶ人にも国際感覚を養いたいと考えている人達にも新しい世界のトビラをあけてくれた模様です。

その後、参加者から、「何時に寝て、何時に起きますか」とか「どんな食べ物か主食ですか」「日本について、どう思いますか」などの質問がとびかき、会場は熱気につつまれていました。

なお、中央公民館では今後、外国人によるパネルディスカッションやパーティー、チャリティバザーなども予定しています。

村のメインストリートづくり 国道49号歩道工事はじまる

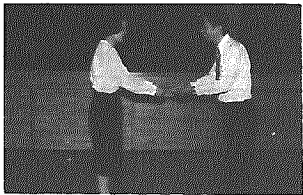


国道49号歩道整備については協議会を設置し、整備内容の検討を行い、松や寒椿、ツツジなどの植栽をし村のメインストリートとしての景観を配慮することに決定しました。かねよし商店の前から阿賀用水路までの間に、十二月中旬までの工期で工事が始まり

ました。

工事期間中は、歩行者、地域住民の皆様、沿線商店の方々に迷惑をおかけすると思いますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

越 横 ダンスクラブ 「のぎくの家」に 三万円寄贈



売上げの一部を寄贈する佐藤会長(右)

横越ダンスクラブ(会長佐藤春善 会員四十名)では、毎週水曜日の午後七時三十分から中央公民館で練習を行っています。

このたび、その練習の成果とチャリティを含めたチャリティダンスパーティーを二本木の勤労者体育センターで開催しました。

当日は、亀田や新津からの参加もあり、約百名の男女が、ワルツ・ルンバ・チャチャなどのダンスの曲で華麗な踊りを披露し、その際、参加費の一部を「福祉に役立てて下さい」ということで「のぎくの家」の代表・小野塚テ子さんに寄贈しました。



挨拶する佐藤会長

生涯マラソン大会 遠藤鉄雄さん(42)が優勝

薄曇りでマラソン日和の六月六日、横越村を会場にして第十七回生涯マラソン大会が新潟ランニング同好会主催で開催されました。

当日は、新潟市、五泉市、新潟市、小千谷市、三島町などから八十余名参加し、最高年齢は、新潟健友会所属の西野留蔵さん(80)。

この大会のコースは、中学校脇をスタート・ゴールとする自転車道―広域農道周回コースで約7.2km。タイムの速さを競うのではなく、自己予想タイム方式とし、ゴールタイム予想申告タイムとの差が少ないものが上位に入賞するもので、午前十時五十分全員いっせいにスタートとし申告タイムとゴールタイムが一秒差であった小杉の遠藤鉄雄さん(42)が、みごとに地元開催で優勝しました。

参加されたマラソン愛好者の皆さんは、老人福祉センター「横雲荘」で汗を流した後、新田コミュニティセンターで、親睦を深めました。

去る三月七日(日)に結成式典が行われましたが、六月二十日(日)には本部(アメリカ)を寄贈しました。

当日は、県内のライオンズクラブから三百余名、群馬からもお祝いにかけつけてくれました。

これで正式に横越ライオンズクラブが組織として認証され、記念事業として、中学校へプレミア・ティンパニ(八十五万円相当)と小学校へ液晶プロジェクター(六十五万円相当)を寄贈しました。



中学校脇を一斉スタート

横越方言けんぶんろく① ○衣(横越村の民俗より 著者 曾我廣見さん)

方言	標準語	用法その他
アカトリ	敷布	アカトリを洗った
キモン	着物	ツギモン、イオモン、キモン
ギンボオ	竹の皮でつくった鼻緒	ギンボウをたてた
クスブトン	薬入れ蒲団	クスブトンに寝た
ゴザボーン	菅の雨具	ゴザボーン着て学校へ
シャッポ	帽子	
ツギモン	布	ツギで拭く
ハンチャ	針仕事	
フカグツ	(晒の)肌着	母がツギモンしている
	薬で作った長靴	



村回顧② 統合前 横越小学校(昭和16年頃)
昭和51年に村内の4つの小学校が統合され、統合小学校は、新潟市浄水場脇に、跡地は横越村農協Aコープとなっている。